

単位数	2	学科（型） 学年	工業科 1年	教科書 副教材等	高等学校公共（帝国書院）
学習目標		現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を、適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。また、社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養うものとする。			
学期	学習内容			学習のねらい	
1	1 私たちがつくる社会 （1）社会の中の私たち （2）思想から学ぶべきもの （3）私たちの社会の基本原理			・現代社会の諸問題について、自己との関わりに着目して、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考えることの大切さを自覚する。 ・現代社会の特質と社会生活の変化について理解し、また、青年期の意義と自己形成の課題について考えるとともに、現代社会における青年の生き方について自覚を深める。	
2	2 社会のしくみと諸課題 （1）私たちと法 （2）私たちと政治 （3）私たちと経済			・現代の変動する経済社会における産業構造の変化、公的部門の役割と租税、雇用と労働問題について理解し、個人と企業の経済活動における社会的責任について考える。	
3	3 持続可能な社会の実現に向けて			・消費、環境、労働、社会福祉の現状と課題について学習することにより、人々の幸福を支えるために社会はどうあるべきかを考える。	
評価の観点		内 容			
知識・技能		・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。			
思考・判断・表現		・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。			
主体的に学習に取り組む 態度		・よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。			
評価 方法	ア 各学期の定期考査で、出題範囲における知識と技能の習得の状況、思考力・判断力・表現力を評価する。 イ 現代の諸課題を探究する際のレポートを評価する。 ウ 学習活動の様子や発表、討論、論述などの内容を評価する。 エ 自己評価やふり返りシートを評価する。				
学 習 に 対 す る ア ド バ イ ス と 留 意 事 項					
○ 授業の前に教科書を読んでおこう。 ○ 教科書や副教材の文章だけでなく、表や写真などもよく見て理解を深めよう。 ○ 授業がすんだら、ノートを確認しながら、もう一度教科書を読んで復習しよう。					